

歯科医師・歯科医療従事者研修会

★日本歯科医師会生涯研修制度 認定研修

対象

東京都内在勤または在住の
歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士等

受講料
無料



歯科医師

歯科衛生士

歯科医療従事者

第1回

①「成人期の発達障害について考える」

発達障害のある方が成人期を迎え、社会で生活してゆく中でさまざまな困難に直面することがあります。また、社会生活を送るようになってから精神症状や身体症状が表面化し、成人期になってはじめて発達障害と診断される人も多いためです。こうした方々の特性を理解し、どのように接していくべきかを学びます。

岩波 明 (昭和大学附属烏山病院 病院長)

②「地域歯科医院で診る顎関節症患者への対応」

開・閉口時の痛みなど、顎関節に症状を訴えて歯科を来院する患者は、片頭痛など違和感を併発し医療機関の受診を繰り返していることも多いといえます。また、障害者は咬合の異常から顎関節に問題を生じたり、症状を伝えることができずに悪化することもあります。顎関節症の症状や原因を知り、地域歯科医院でできる対応について学びます。

木野 孔司 (木野顎関節研究所 所長)

第2回

①「がん治療の周術期における歯科治療と口腔ケア」

がん治療の周術期における口腔機能管理の実施は、術中術後の合併症のリスクを軽減させ、術後のQOLの向上にも結びつきます。平成24年度より「周術期口腔機能管理」が保険導入され、一般歯科診療所においても周術期における口腔機能管理を広く浸透させていくことが望まれています。術後合併症を減少させ口腔機能を良好に維持していくにはどうすればよいか、医科・歯科連携の実例を交えて理解を深めます。

山内 智博 (がん・感染症センター 東京都立駒込病院 歯科口腔外科 医長)

②「高齢者の健康を守るための歯科補綴の役割」

高齢者の低栄養状態は認知症や転倒等につながり、高齢者の寝たきりの原因にもなる可能性が指摘されています。一方経口摂食による栄養摂取は義歯の装着状況に密接に関連していると報告されています。歯科補綴が高齢者の身体機能および精神機能に及ぼす影響について、実際の症例を通じて学びます。

水口 俊介 (東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 教授)

第3回

①「明日の臨床に活かす！歯周病原菌のリスクマネジメント

～歯周病が全身に及ぼす影響～

障害のある方は、歯科診療の協力性、全身疾患の合併症により口腔の健康管理が困難となり、歯周病が重症化するケースが少なくありません。歯周病原菌が全身に及ぼす影響を知り、口腔の健康が全身の健康につながることを学びます。

落合 邦康 (日本大学歯学部 特任教授)

②「オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ歯科の役割」

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、マウスガードやフェイスガードなど、スポーツ歯科医学に関する最新の知識について学びます。

上野 俊明 (東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 スポーツ歯科学分野 准教授)

プログラム

日時

第1回 2018年

4月15日(日)

① 10:00～11:30

② 12:30～14:00

第2回 2018年

5月20日(日)

① 10:00～11:30

② 12:30～14:00

第3回 2018年

6月17日(日)

① 10:00～11:30

② 12:30～14:00

会場

東京都立心身障害者口腔保健センター

8階研修室

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ8・9階(事務棟)

○JR利用の場合

「飯田橋」駅下車 西口改札 徒歩4分

○地下鉄利用の場合(東京メトロ東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線)

「飯田橋」駅下車 B2b出口(セントラルプラザ1階ロビー直結)



案内地図



申込方法

FAX申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは、
電話(平日9時～17時)にてお申込みください。
定員:各回40名 ※定員になり次第受付を終了致します。



お申込・お問合せ先

東京都立心身障害者口腔保健センター 研修担当

電話 03-3235-1141 FAX 03-3235-1144

URL <http://www.tokyo-ohc.org/>

★詳細はホームページをご覧ください。



ホームページへ